

第60回記念 山口県統計大会

山口県統計協会主催による「第60回記念山口県統計大会」が、平成24年11月22日（木）、山口県総合保健会館において、約450名の参加者のもとに開催されました。

統計大会は、統計の普及と技術の向上に資するとともに、統計功労者、優良団体等を表彰し、その功績を顕彰することを目的として、昭和26年に第1回の統計大会を開催して以来、回を重ね、本年、第60回の節目の記念大会を開催することができました。



主催者あいさつ

大会の開催にあたり、主催者である山口県統計協会会長の藤井哲男山口県総合政策部長から、統計調査に携われる調査員や市町職員の方々と統計調査に御協力いただいている事業所の皆様への感謝の言葉とともに、この度表彰を受けられる方々に対してお祝いの言葉が贈られました。

また、平成21年の新統計法の施行により、公的統計は、従来の「行政のための統計」から「社会の発展を支える情報基盤としての統計」へと役割の転換が図られ、その有用性が高まっているが、その一方で、プライバシー意識の高まりやライフスタイルの変化等を背景に、調査環境が一段と厳しさを増しており、統計が果たすべき

役割への御理解をいただくため、マスメディアを活用した重点的な広報や、利用者のニーズを更に踏まえた使いやすい統計の提供に努めており、引き続きお力添えをお願いしたいとの挨拶がありました。

続いて、来賓の総務大臣（代理：平山眞総務省政策統括官）祝辞において、表彰受賞者に対するお祝いの言葉とともに、「統計の日」が制定されて40年を迎える中、これまで、各種の政策目的に添った統計の充実と重複排除などの不断の見直しを行い、簡素で効率的な統計体系の整備に取り組んだこと、個人情報保護意識の高まりなどにより、厳しさを増す統計調査を取り巻く環境に対応するため、報告者負担の軽減のための取組や、政府統計の統一ロゴタイプの策定・導入により、国民が統計調査に協力しやすくなるよう、環境整備に努めていることなどを述べられました。



総務大臣（代理）祝辞

引き続き、来賓の経済産業大臣（代理：山根一久経済産業省大臣官房調査統計グループ統括統計指導官）祝辞において、表彰受賞者に対するお祝いの言葉とともに、経済の状況を把握し、適切な政策を講じていく基本ツールである「統計」の質を左右するのは、正確なデータ収集であること、日本の統計が世界に誇る迅速な回収と高い回収率は、統計調査員の地道な活動の積み重ねによるものであること、また、多様化する経済活動全体の実態を詳細に把握するため「経済センサス活動調査」を開始したこと、そして、山口県は、屈指のコンビナート群にけん引

される産業力の再生によって、これからも力強い発展が期待されることなどを述べられました。



経済産業大臣（代理）祝辞



大臣表彰代表受賞の様子



山口県知事表彰代表受賞の様子



統計グラフコンクール特選受賞者表彰の様子

来賓の方々の祝辞に続いて、総務大臣表彰【9名】、経済産業大臣表彰【4名】、厚生労働大臣表彰【7団体及び1名】、山口県知事表彰【10名】、山口県統計協会会長表彰【66名】、統計グラフコンクール特選表彰【8名】、統計グラフコンクール優秀校表彰【5校】、が行われ、受賞者への皆さんへ賞状の授与が行われました。

表彰終了後、3名の方から体験発表を行っていただきました。

長門市の統計調査員、和田小代子さんは、「調査で会った人々と時」と題して、永年の統計調査員としての経験談や感じたことを述べられました。続いて、山口市立大歳小学校教諭の森川万博さんは、「見えないものを見えやすくする統計教育の実践」と題して、山口市立徳地中学校教諭の竹安昭博さんは、「徳地中パワーアップ作戦！！統計グラフづくり」と題して、それぞれ統計教育の効果的な授業の進め方等について発表されました。



山口市立大歳小学校 森川万博教諭の体験発表の様子

統計委員会委員長 樋口美雄教授の記念講演の様子



体験発表の後、内閣府・統計委員会委員長である慶應義塾大学商学部長の樋口美雄教授が「山口県の人口減少・少子高齢化と雇用」と題して、記念講演が行われました。

樋口委員長は、雇用対策や失業問題等、労働経済学の第一人者として著名な方であり、県内の経済団体や労働団体をはじめとする様々な分野の方々が、多数来場されました。

講演は、人口減少・少子高齢化が経済や雇用に与える影響等に関する分析とともに、県内の柳井市、萩市や宇部市において取組が進められている「雇用創造事業」についても紹介

されるなど、理論と実践の両面から、具体的で興味深い説明がなされ、来場された皆さんは、最後まで熱心に聴講されました。